

作業報告

日時 2013年11月4日(月) 08:00~12:00

場所 26 km 200m 付近

作業実績

1. 継目部まくらぎ位置整正、つき固め (26 k 167 m~26 k 204 m) 継目部4箇所
2. PCまくらぎ挿入 (26 k 167 m付近) 1本
3. むら直し (26 k 160 m~26 k 175 m) 2箇所10 m
4. 通り整正 (26 k 160 m~175 m) 15 m
5. 砕石補充、整理 (26 k 170 m 210 m L=40 m) 6箇所 約7 m³



作業報告

日時 2013年11月5日(火) 08:00~12:00

場所 26 km 375 付近

作業実績

1. 損傷PCまくらぎ交換 1本 (踏切より175m地点)
2. 継目部まくらぎ位置整正 5箇所 (PCまくらぎ1本撤去含む)
3. むら直し 31m (踏切起点174m~205m)
4. 通り整正 50m (250m~300m)
5. 砕石補充、整理 1式

インド製タイタンパ4台の内、2台が故障、水準器も壊れ、軌間ゲージが無いため、いよいよする作業に限られるようになった。バカ棒的な軌間ゲージでは難しく、唯一ある日本製の軌間ゲージは、水準器が壊れている。

このままでは、日本からの器材到着まで、作業を一時中断することも検討しなければならない。

明日は作業区間を広げず、面整正を中心とした作業を行う。



損傷PCまくらぎ交換



継目部まくらぎ位置整正



通り整正



作業終了時

少しずつではあるが、線路らしくなってきた。

整備している左側は上り（マンダレー方向）、右側は下りで、未整備のまま。

作業報告

上下線ともに盛土の法面側レールが下がっているため、水準を整備したが、標準ゲージが不良で数値が不明で、数値のでない水準器で見ている状態。

に標準ゲージ1本を持参してほしいのですが。

作業実績

- ・ 5mピッチ印し付け 100m (～355m)
- ・ 継目部まくらぎ位置整正 2箇所 (PCまくらぎ挿入1本含む)
- ・ むら直し (水準不良箇所) (踏切起点0m～220m)
- ・ 碎石補充 j、整理 125m (踏切起点200m～325m)



作業施工前



施工中



碎石補充



終了時

作業報告

本日も快晴、朝晩は少し涼しいようですが、日中の気温は日々高くなっている。

作業は300m付近の橋梁部まで来た。

継目部の縦まくら木の加工は少々時間が掛かるようである。

本日は加工済みの四つ切まくら木のみ継目部に挿入しました。

作業実績

- ①5mピッチ印付け 100m (踏切26k000mとして26k455mまで)
- ②継目部まくらぎ位置修正 3箇所 (PCまくらぎ挿入1本含む)
- ③継目部四つ切まくらぎ挿入 3箇所
- ④むら直し (水準不良箇所) 80m (26k250m～330m)
- ⑤通り直し 25m (26k305m～330m)
- ⑥碎石補充、整理 20m
- ⑦橋まくらぎ位置修正 8m



まくらぎ位置修正



継目部四つ切まくらぎ挿入



橋梁アバット部つき固め



作業終了時 (橋梁部を含めた区間)

2013.11.11 (月)

作業報告

午前8時に26k000m付近の踏切に集合。点呼後にミャンマー国鉄職員と継目部のまくら木修正、碎石補充と整理、施工終了部分の水準の悪い箇所の再整備を行った。

- ② 目部まくら木位置修正 5箇所 (26k380m~428m)
- ②まくら木位置修正 (中間部) 3本
- ③損傷PCまくら木交換 4本
- ④通り直し 90m (26k310m~400m)
- ⑤碎石補充、整理 48m (26k380m~428m)
- ⑥検測 (高低、通り) 施工前、施工後



朝の点呼



通り整正作業



道床補充・整理

作業報告

上り線の 26 k 付近の踏切のヤンゴン方の踏切取付け部の軌道整備を行った。

現場付近での列車通過の状況を見ると、とても車両の動揺が大きいため整備を行った。

また、本日 現場に J R 東日本の成澤副社長、ミャンマー国鉄本社の土木関係幹部の方が
実習作業の見学に来られ、1 時間程度作業を見学された。

作業実績（上り線施工）

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ①継目部まくらき位置整正 | 1 箇所 |
| ②損傷 P C まくらぎ交換 | 2 本 |
| ③むら直し | 15 m (25 k 975 m ~ 990 m) |
| ④バラスト補充・整備 | 30 m (25 k 960 m ~ 990 m) |
| ⑤除草 | 30 m (25 k 960 m ~ 990 m) |



踏切起点方の検測



高低調整後のむら直し



作業終了後の状態

作業報告

本日は、上り線の26k340m付近の橋梁部よりバゴ一方でまくら木位置整正、軌道整備を行った。

MR スタッフは使用機材を事前に確認しないようで、作業中にEGの燃料が切れ、道具がなく踏切まで取りに帰ることが多いため、その日使用する機材を、取扱い責任者を決めて点検するように、終了点呼時に責任者に話をした。ここ数日、11時を過ぎると日差しが急に強くなってきた。

作業実績（上り線施工）

- | | |
|----------------|------------------------|
| ①継目部まくらぎ位置整正 | 3箇所（26k440m～464m） |
| ②まくらぎ位置整正（中間部） | 1箇所 |
| ③損傷PCまくらぎ交換 | 2本 |
| ④むら直し | 区間延長83m（26k345m～428m） |
| ⑤通り整正 | 区間延長115m（26k345m～460m） |
| ⑥バラスト補充・整備 | 24m（26k440m～464m） |
| ⑦5mピッチ印付け | 100m（26k560m～660m） |



まくらぎ位置整正施工中



通り整正作業中



作業後の検測



施工後の線路状態

作業報告

日時 2013年11月14日(木) 08:00~12:30

場所 26km 340~484m

上り線の26km340m付近の橋梁部よりバゴ一方でまくら木位置修正、総つき固めを行った。
作業中、現場へミャンマーのテレビ局が取材にあった。

作業実績(上り線施工)

- ① 目部まくら木位置修正 1箇所(26k475m)
- ② まくら木位置修正(中間部) 1箇所(26k460m)
- ③ 傷PCまくら木交換 3本
- ④ つき固め 20m(26k340m~360m)
- ⑤ 石補充、整理 12m(26k472m~484m)
- ⑥ 検測(高低、通り) 施工前、施工後



作業報告

日時 2013年11月15日(金) 08:00~12:00

場所 26 km 000 付近、26 km 400 付近

本日は、昨日までの施工箇所のバラスト補充・整備と今週施工分手直しを行った。

作業実績(上り線施工)

- ①踏切取付け部むら直し 38m (25k952m~990m)
- ②通り直し 2箇所 (25k960m~984m、26k000m~035m)
- ③踏切端部固結部掘り起し、道床補充 1箇所
- ④砕石補充、整理 141m (26k345m~486m)
- ⑤検測(高低、通り) 施工前、施工後



踏切起点方の高低調整・むら直し



踏切端部の固結部分掘り起し



作業終了後の状態

作業報告

日時 2013年11月18日(月) 08:00~12:00

場所 26 km 500 付近

作業実績(上り線施工)

- ① 目まくら木位置直し(短まくら木挿入含む) 2箇所 (26 k 485 m~500 m)
- ② PCまくら木撤去、挿入 各1本 (26 k 485 m~500 m)
- ③ 軌道むら直し 延長85 m (26 k 405 m~490 m)
- ④ 砕石補充、整理 15 m (26 k 485 m~500 m)
- ⑤ 検測(高低、通り) 施工前、施工後



継ぎ目部まくら木位置修正作業



継目部施工後



むら直し

今日より NSG の清野・三井両氏の交替で田中・中島両氏が現場指導に加わった。

作業報告

日時 2013年11月19日(火) 08:00~12:40

場所 26 km 500 付近下り線 (橋りょうマンダレー側)

作業実績 (下り線施工)

- ① 継ぎ目まくら木位置修正
- ② 軌道整備
- ③ 道床補充・整理作業



下り線 26 km 500 橋りょうのマンダレー側を 30m に渡り線路こう上作業を行った



作業報告

日時 11月20日(水) 08:00~12:00

場所 26 km 500 付近上り線

26 km 350 付近下り線

継目部の縦まくら木治具の取付けを施工したが、ミャンマー側で準備した短まくら木が幅 200 mm ため、穴の位置を変更しています。

作業実績

上り線

- ① 目部まくら木位置修正 2箇所 (26 k 510 m ~ 525 m)
- ② 目部縦まくら木金具取付け 1箇所 (26 k 510 m)
- ③ 傷PCまくら木交換 3本

下り線

- ① 目部縦まくら木治具取付け 1箇所 (26 k 368 m)
- ② 通り直し 30m (26 k 340 m ~ 370 m)
- ③ むら直し 25m (26 k 350 m ~ 375 m)
- ④ 道床補充・整理 15m (26 k 350 m ~ 365 m)
- ⑤ 検測 (高低、通り) 施工前、施工後



継目部短まくら木

短まくら木を施工すると、つき固めが出来ないので、短まくら木を線路方向に敷設、治具も幅の小さいものに変更を検討中。

作業報告

日時 11月21日(木) 08:00~12:00

場所 26km 530 付近上り線

26km 380 付近下り線

作業実績

上り線

- ① 目部まくら木位置修正 2箇所(26k 525m~555m)
- ② Cまくら木挿入 2本
- ③ 石補充、整理 35m(26k 510m~545m)
- ④ 測(高低、通り) 施工前、施工後

下り線

- ① 締結装置補修(ばね、インシュレーター、軌道パッド取付け)不良箇所
- ② むら直し 20m(26k 370m~390m)
- ③ 碎石補充、整理 20m(26k 370m~390m)
- ④ 検測(高低、通り、水準) 施工前、施工後



上り線 まくら木位置修正



下り線 道床肩かき上げ



下り線 作業終了時

本日で、下り線の継目部の軌間拡大箇所と橋梁取付け部のむら直し(水準直し)を終了し、計画通り明日から上り線の作業を続ける。

作業報告

日時 11月22日(金) 08:00~12:00

場所 26 km 560 付近上り線

作業実績上り線

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| ①継目部まくらぎ位置修正 | 2箇所・12本(26k555m~575m) |
| ②PCまくらぎ挿入 | 2本 |
| ③むら直し | 35m(26k470m~505m) |
| ④通り修正 | 35m(26k470m~505m) |
| ⑤碎石補充、整理 | 55m(26k510m~545m、26k555~575m) |
| ⑥検測(高低、通り) | 施工前、施工後 |
| ⑦5mピッチ印付け | 120m(26k660m~820m) |



明日23日(土)は、ヤンゴン~バゴ一間の動揺測定を予定している。

作業報告

日時 2013年11月25日(月) 08:00~12:00

場所 上り線 26km 530~585

作業実績上り線

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ①むら直し | 25m (26k 530m~585m) |
| ②通り直し | 2箇所 (26k 530m~585m) L=20m |
| ③碎石補充 | 26k 575m~585m |
| ④不良PCマクラギ交換・挿入 | 3本 |
| ⑤検測(高低、通り) | 施工前、施工後 |



上り線 不良まくら木(折損)交換 1



上り線 不良まくら木(折損)交換 2



継目部鉄板挿入(施工後)

作業報告

日時 2013年11月26日(火) 08:00~12:00

場所 上り線 26km 580~610

作業実績

- | | |
|----------------|-----------------------|
| ① むら直し | 10m (26k 583m~593m) |
| ② まくら木位置整正 | 9本 (26k 600m~610m) |
| ③ 砕石補充 | L=20m (26k 583m~603m) |
| ④ 不良Cマクラギ交換・挿入 | 3本 |
| ⑤ 検測(高低、通り) | 施工前、施工後 |

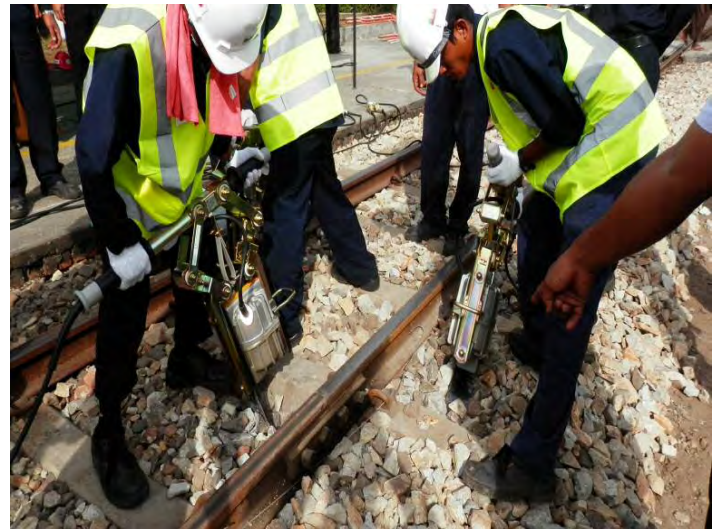


上り線 26k590 付近むら直し

12月27日運輸政策研究機構からのタイタンパー贈呈式の準備



日本からの保線機材



保線機材の動作確認(ヤンゴン駅構内)

作業報告

日時 2013年11月28日(木) 08:00~12:00

場所 26 km 007~034m

作業実績

① むら直し(実習兼)	下り線	20m(26k014m~034m)
むら直し	上り線	19m(26k007m~026m)
② 石補充	上り線	L=15m(26k010m~025m)
③ 道床整理	下り線	20m(26k014m~034m)
道床整理	上り線	19m(26k007m~026m)
④ 検測(高低、通り)		施工前、施工後

○下り線は施工後の検測で-6mmの箇所があったので、再度手直しでむら直しを実施した。
(むら直し実績位置と重複のため実績計上なし) L=5m

○上り線は施工後に水準器で確認したところ、左側の水準が-7mmあったので、再度むら直しを実施した。(むら直し実績位置と重複のため実績計上なし) L=10m





T・Tによるつき固め

作業報告

日時 11月29日（金）08：00～12：00

場所 26 km 028～108

26k030m付の上り線でT・T及びE・Gの取扱いと注意点を指導した。
指導後、実習を兼ねて上り線26k028m～108m間のむら直し作業を行った



T・T取扱い指導（A・Bグループ）



E・G取扱い指導（A・Bグループ）



T・Tによる継目部短マクラギ搦き固め

作業報告

日時 2013年12月2日(月) 08:00~12:30

場所 上り線 26km 610~645

作業内容

午前8時に26k000m付近の踏切に集合し点呼、点呼後上り線26k610m付近の軌道整備、26k616m付近の継ぎ目位置修正等を実施した。

- | | | | |
|--------------|-----|------------------------------|-----------|
| ① むら直し | 上り線 | 26 k 6 1 0 m ~ 2 6 k 6 4 5 m | L = 3 5 m |
| ② 目位置修正 | 上り線 | 2 6 k 6 1 6 . 5 m 付近 | 2 本 |
| | | 2 6 k 6 3 0 m 付近 | 6 本 |
| | | 2 6 k 6 4 2 m 付近 | 2 本 |
| ③ クラギ交換 | 上り線 | 2 6 k 6 1 8 . 5 m 付近 | 1 本 |
| | | 2 6 k 6 2 8 . 5 m 付近 | 1 本 |
| ④ マクラギ撤去 | 上り線 | 2 6 k 6 3 5 . 5 m 付近 | 1 本 |
| ④ 検測 (高低、通り) | | 施工前、施工後 | |



作業報告

日時 2013年12月3日(月) 08:00~12:00

場所 上り線 26km 635~680m

作業内容

① むら直し 上り線 左 26k635m~26k680m L=55m

② マクラギ位置修正 上り線 26k654m 付近 2本

26k655m 付近 2本

26k677m 付近 2本

26k689m 付近 1本

③ マクラギ交換 上り線 26k654m 付近 2本

26k655m 付近 1本

④ 検測(高低、通り) 施工前、施工後



作業報告

日時 2013年12月4日(水) 08:00~12:30

場所 上り線 26km 673~730m

作業内容

- ① むら直し) 上り線 左 26k669m~26k717m L=30m
- ② 目位置修正 上り線 26k701m 付近 2本
26k713m 付近 2本
26k725m 付近 2本
- ③ クラギ挿入 上り線 26k701m 付近 1本
26k713m 付近 1本
- ④ クラギ交換 上り線 26k730m 付近 1本
- ⑤ 検測(高低、通り) 施工前、施工後



マクラギ交換指導 (C・Dグループ)



マクラギ位置修正指導 (C・Dグループ)



むら直し指導 (C・Dグループ)

作業報告

日 時 12月5日(木) 08:00~11:00 13:00~14:00

場 所 上り線 26km 140~179

作業内容

- ① むら直し 上り線 26k140m~26k179m L=39m
- ② 継目位置整正 上り線 26k165m 付近 2本、26k177m 付近 2本
- ③ 締結装置交換(パンドロール) 上り線 26k150m 付近 30本
- ④ 検測(高低、通り) 施工前、施工

・国土交通省「柘野国土交通審議官」ほか8名視察(13:00~14:00)



マクラギ直角指導 (A・Bグループ)



マクラギ位置整正指導 (A・Bグループ)



むら直し指導 (A・Bグループ)

作業報告

日時 2013年12月6日(金) 08:00~12:30

場所 上り線 26 km 000~270m

作業内容

- ① むら直し 上り線 26k000m~26k270m
- ② 通り直し 上り線 26k180m~250m
- ③ 検測(高低、通り) 施工前、施工



むら直し指導 (C・Dグループ)



通り直し指導 (C・Dグループ)

作業報告

日 時 12月9日(月) 08:00~12:30

場 所 上り線 26 km 265~803m

作業内容

- ① むら直し 上り線 左右 26k265m~26k329m
- ② 通り直し 上り線 26k263m~273m. 26k305m~315m
- ③ 継ぎ目位置整正 上り線 26k749m2本, 26k760m2本, 26k773m2本
26k785m2本, 26k797m2本
- ④ マクラギ交換 上り線 26k749m1本, 26k760m1本, 26k783m1本
26k793m1本, 26k803m1本
- ⑤ 検測(高低、通り) 施工前、施工



むら直し指導 (C・Dグループ)



通り直し指導 (C・Dグループ)

本日よりA, B, C, Dグループ24名でタイタンパー8台、発電機、2台豆ジャッキ10台で始める予定だったが、ガソリンとエンジンオイルを用意していないため、1セットのみの稼働であった。そのため、予定の作業が出来ず、また左右のむら直しがうまくいかず、作業の進捗によっては、水準狂いが出てくる可能性がある。

明日は4台×2のタイタンパーで左右同時に進めて行く予定。

朝から11時頃までは一頃よりも涼しくなったため、作業はやり易いが、機材の不足で手待ちが多くなっている。こちらでパイスケや簡易トロもしくはネコを製作することを検討する。

作業報告

日 時 2013年12月10日(火) 08:00~12:30

場 所 上り線 26 km 790~870m

作業内容

主な作業	作業種別	単 位	施工数量
	総つき	m	0
	むら直し	m	98
	つき固め(総つき・むら直し含む)	m	98
	継目部豆碎石使用のむら直し	箇所	0
	継目部四つ切マクラギ挿入	箇所	0
	マクラギ位置整正	本	6
	マクラギ交換	本	1
	マクラギ挿入	本	1
	マクラギ撤去	本	0
	マクラギ交換(挿入・撤去含む)	本	2
	通り直し	m	98
	道床補充・道床整理	m	0



TT8 台によるむら直し

MR 側から来週からの作業を 12 km から 13 km 間を集中して、研修補修作業を進めてほしいとの依頼があった。今週には正式にレターを出すそうです。

MR 本社から重点不良箇所の整備を急ぐようにとの指示があったそうです。

一部パイロット区間の変更も有りますが、整備区間は 20 km で変更しない予定です。

作業報告

日 時 2013年12月11日(水) 08:00~12:30

場 所 上り線 26 km 680~800

作業内容

主な作業	作業種別	単位	施工数量
	総つき	m	123
	むら直し	m	0
	つき固め(総つき・むら直し含む)	m	123
	通り直し	m	48
	道床補充・道床整理	m	123



なかなか資機材が到着しないので、こちらで調達できるパイスケ、トロクを用意して、作業効率を上げます。

作業報告

日 時 2013年12月12日(木) 08:00~12:30

場 所 上り線 26 km 780m~27 km 038m

作業内容

作業種別	単位	施工数量
総つき	m	131
むら直し	m	0
つき固め(総つき・むら直し含む)	m	131
通り直し	m	0
道床補充・道床整理	m	131



TT8 台によるむら直し

総つきで 131m まで伸ばすことが出来ましたが、通り直しが出来なかったため、明日通り直しをして、来週から下り 12 km 200 よりバゴ一方で行います。

作業報告

日 時 2013年12月13日(金) 08:00~11:30
場 所 上り線 26 km 875m~27 km 035m
上り線 26 km 120m~26km181m

作業内容

作業種別	単位	施工数量
総つき		0
むら直し		39.5
つき固め(総つき・むら直し含む)		39.5
マクラギ位置修正		6
通り直し		131
道床補充・道床整理		39.5



本日 8:30~9:00、日本人学校中学部生徒(20名)が保線作業を見学した。このような JICA の仕事をするためには、どうしたらよいかとの質問もあった(たくさん勉強をして大学を卒業、JICA の採用試験を受けて下さい。)

作業報告

日 時 2013年12月16日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 200m~12 km 500m

作業内容

総括責任者：1名 作業責任者：5名 作業員：21名

- ・事前検測 12k200m~12k500m L = 300m
- ・碎石補充 下り線 12 km 200~12 km 250
- ・継目マクラギ位置整正 12k205m 付近 3本、12k217m 付近 2本、12k229m 付近 5本
12k240m 付近 3本、12k252m 付近 2本、12k264m 付近 4本
12k276m 付近 3本

作業種別	単位	施工数量
マクラギ位置整正	本	22
道床補充・道床整理	m	50



12 km 200m 起点杭



位置出し、事前検測



本日より下り線 12 km 200 より作業を開始する。

12月20日総つき実習のため、マクラギ位置整正、バラスト整理・補充を中心に作業を行った。

バラスト補充は19日には行われる予定。

作業報告

日 時 2013年12月17日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 250~12 km 320m

作業内容

総括責任者：1名 作業責任者：4名 作業員：21名

- ・ バラスト補充 12k250m ~ 12k320m L=70m
- ・ 継目マクラギ位置修正 12k288m 付近 5本
12k300m 付近 3本
12k312m 付近 1本
12k324m 付近 4本
12k335m 付近 2本



バラスト補充・整理



マクラギ位置修正

本日もマクラギ位置修正とバラスト補充を行った。

今夜バラスト補充が行われる予定で、18日は20日の総つきの準簿作業を行う予定。

作業報告

日 時 2013年12月18日(水) 08:00~12:10

場 所 下り線 12 km 250m~12 km 320m

作業内容

総括責任者：1名 作業責任者：4名 作業員：21名 研修センター講師：1名

・ 碎石補充	12k320m ~ 12k443m	L=123m		
・ 継目マクラギ位置修正	12k360m 付近	4本	12k371m 付近	2本
	12k383m 付近	2本	12k395m 付近	3本
	12k407m 付近	3本	12k419m 付近	3本
	12k431m 付近	2本	12k443m 付近	2本
・ マクラギ位置修正	12k400m 付近	2本	12k415m 付近	1本
			計	24本

昨夜バラスト補充が行われた。19日午前中線路扛上の講習、午後は測量を行い、20日線路扛上(総つき100m)の準備を行う。



作業報告

日 時 2013年12月19日(木) 08:00~16:30

場 所 ヤンゴン中央駅講習室 08:00~12:20

上り線 12 km 200m~300m 14:00~16:30

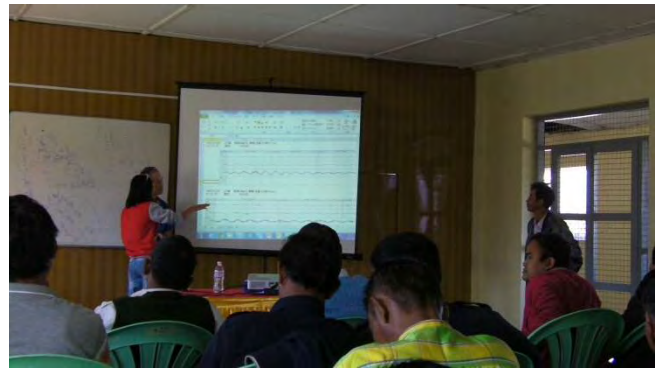
作業内容

ヤンゴン中央駅講習室

安全・安定的なレール扛上について講習 講習者 28名

上り線 12 km 200~300m レール扛上のための測量実習

20日上り線 12km200~300m レール扛上のため、測量を行い、整備計画を立てたが、継ぎ目部の落ち込みがひどく、またバラスト量が少ないため、最大 30 mmの向上を行う整備計画線とした。



レール扛上講義



レール扛上測量実習

作業報告

日 時 2013年12月20日(金) 08:00~12:30

場 所 下り 12 km 200m~300m

作業内容

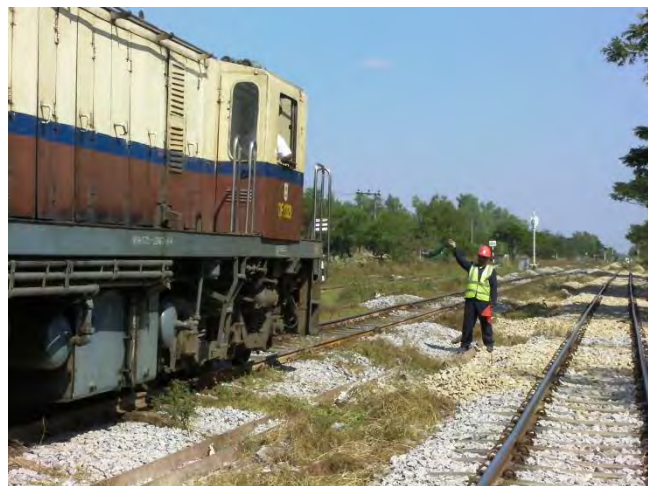
総括責任者：1名 作業責任者：4名 作業員：24名

研修センター講師1名 南管区AE 1名

- ・ 総つき固め 12k200m ~ 12k300m L=100m
- ・ 通り直し 12k200m ~ 12k300m L=100m
- ・ 測量 12k300m ~ 13k500m

下り線 12km200~300 において、レール扛上を行ったが、バラスト量が少ないため、30 mmの向上が精一杯であった。

次回総つきのため、整備計画線を作成するため測量を行った。



作業報告

日 時 2013年12月23日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 260~660m 上り線 12 km 458m 付近

作業内容

総括責任者 : 1名 作業責任者 : 3名 作業員 : 23名 研修センター講師 : 1名

- ・ マーキング 12 km 500m~660m
- ・ 継目部マクラギ位置修正 16本
- ・ 中間マクラギ位置修正 5本
- ・ バラスト補充 12k260m ~ 320、12k420 ~ 13k500m
- ・ 継目短縦マクラギ挿入 2本

上り線 12km458 付近絶縁継ぎ目部マクラギ破損 (2本) のため、列車走行音が異常なためマクラギを交換し短縦マクラギを挿入した。

明日はバラスト補充箇所 12k280~400 付近のむら直しを行う。



マクラギ位置修正



締結装置交換



縦短マクラギ挿入



バラスト肩丁張

作業報告

日 時 12月24日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 12km 290~425m

作業内容

総括責任者:1名 作業責任者 : 3名 作業員 : 20名

- | | | |
|-------|---------------------|--------|
| ・むら直し | 12k295m~320m L=25m | 合計 90m |
| | 12k340m~370m L=30m | |
| | 12k390m~425m L=35m | |
| ・通り直し | 12k295m~425m L=130m | 合計 70m |
| | ・道床補充・道床整理 | |
| | 12k340m~360m L=20m | |
| | 12k400m~420m L=20m | |

明日は祝日のため現場は休工

26日は下り線 12k400m から 600m までのむら直し等を予定



トロによるバラスト補充



むら直しの状況



通り直し



終了後の検測

作業報告

日 時 12月26日(木) 08:00~12:30

場 所 下り線 12km 380~490m

作業内容

総括責任者:1名 作業責任者 : 4名 作業員 : 23名

- ・むら直し
12k380m~394m 右側 L=14m(換算 7m)
12k390m~430m L=40m
12k440m~485m L=45m 合計 92m
- ・通り直し
12k440m~470m L=30m
- ・道床補充・道床整理
12k390m~420m L=30m
12k398m~420m 右側 L=22m(換算 11m)
12k475m~490m L=15m 合計 56m

12月27日は下り線 12k504mから 615mまで道床補充及びむら直し等を予定



下り線 12km400m 付近むら直し



下り線 12km480m 付近道床補充



下り線 12km480m 付近右側肩道床補充



下り線 12km460m 付近通り直し

作業報告

日 時 12月27日(金) 08:00~12:30

場 所 下り線 12km 537m~628m

作業内容

総括責任者:1名 作業責任者 : 4名 作業員 : 19名

- ・むら直し 12k545m~580m L=35m
- ・通り直し 12k540m~585m L=45m
- ・道床補充・道床整理 12k537m~628m L=91m
- ・レールキロ程印付け 12k660m~800m L=140m

来週の30日の予定: 下り線 12km490m から 543m までの分岐器内の道床補充及び 12k640m ~700m の継目部位置整正及び道床補充



バラスト投入前



バラスト投入後



通り整正



道床補充・道床整理後の状況

作業報告

日 時 12月31日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 642~710

上り線 12 km 456 レール継目不良箇所

作業内容

作業責任者 : 3名 作業員 : 19名

- ・ 継目部マクラギ位置修正 14本
- ・ 継目木マクラギ挿入 1本
- ・ バラスト補充 12k642m ~ 699m

上り線 12km456 絶縁継ぎ目部に木マクラギを挿入した。



マクラギ位置修正



バラスト補充・修正



継目用木マクラギ挿入

作業報告

日 時 1月2日(木) 08:00~12:00

場 所 下り線 12 km 490~600

作業内容

総括責任者 : 1名 作業責任者 : 4名 作業員 : 20名

- ・ むら直し 12 km 430m~490m
- ・ カラつき(分岐器部分) 12 km 490m~537m
- ・ バラスト補充 12km 430m~537m
12km 575m~600m

下り線 12km500m 付近分岐器が浮いているため、バラスト補充とカラつきを行った。
明日はバラスト補充箇所 12km575~630 付近のむら直しを行う。



マクラギつき固め



バラスト補充



分岐器浮き木マクラギつき固め

作業報告

日 時 1月3日(金) 08:00~12:00

場 所 下り線 12 km 575~628

作業内容

総括責任者:(夜勤明け欠) 作業責任者 : 3名 作業員 : 18名

- ・むら直し 12 km 575m~628m
- ・通り直し 12 km 575m~628m
- ・バラスト補充 12 km 575m~628m

昨夜上り線のレール交換作業があったため、作業員の疲れが目立った。

下り 12 km 575m~628m でむら直しを行ったが、バラスト不足で、バラスト補充しながらのむら直しとなったが、何とか踏切に取り付けた。

6日からは踏切のバゴ一方を整備するが、バラスト不足があるため、4, 5日でもホキ車でのバラスト補充を依頼した。



むら直し



通り直し



バラスト補充

作業報告

日 時 1月6日(月) 08:00~12:00

場 所 下り線 12 km 730~900

作業内容

作業責任者 : 4名 ・ 作業員 : 17名

- ・ マクラギ位置修正 12k730m ~ 12k900m 31本
- ・ 簡易レベル測量 12 km 650~750m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員と下り線12k730m~900m間のマクラギ位置修正等を実施した。

また、分岐器の落込み調査と12k650mからバゴー方の簡易レベル測量を行ったが、扛上量確認のためレール扛上は施工せず、明日以降続けて行う事とする。

今晚バラスト補充を12k880mから行い、今週は分岐器に手を付けず、レール扛上を進めて行き、11日(土)に列車動揺を測定する予定。



分岐器補修打合せ



砕石補充とマクラギ位置修正



簡易レベル測量

作業報告

日 時 1月7日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 643~800

作業内容

・統括責任者 : 欠 ・作業責任者 4名 ・作業員 : 20名

- ・総突き固め 12k643.5m ~ 12k680m L=36.5m
(バゴ一方取付け L=10m は別途施行)
12k730m ~ 12k740m L=10m
(前後取付け L=10m は別途施行)
- ・通り直し 12k650m ~ 12k670m L=20m
- ・道床整理 12k730m ~ 12k740m L=10m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線12k643.5m(バゴ一方踏切端部)~800m間の基準杭設置及び総突き固めを2グループで実施した。



基準杭と基準レールのレベル合わせ



総突き固め(ヤンゴン方)



総突き固め(バゴ一方)

作業報告

日 時 1月8日(水) 08:00~13:30

場 所 下り線 12 km 680~800

作業内容

・統括責任者 : 欠 ・作業責任者 4名 ・作業員 : 20名

- ・総突き固め 12k680m ~ 12k730m L=50m
12k740m ~ 12k780 L=40m
(前後取付け L=10m は別途施行)
- ・道床整理 12k643.5m ~ 12k720m L=76.5m
12k730m ~ 12k750m L=20.0m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線12k680m(バゴ一方踏切端部)~800m間の基準杭設置及び総突き固めを2グループで実施した。

12k705m ~ 725m 水準不良のため、手直し総つき固めを行った。

(暑いせいもあるが、水準の確認を怠ったため、1グループだけを残して、手直しをさせた。)



基準杭と基準レールのレベル合わせ



居残り手直し総つき(ヤンゴン方)

作業報告

日 時 1月9日(木) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 780~860

作業内容

- ・ 統括責任者 : 欠
- ・ 作業責任者 : 4名
- ・ 作業員 : 23名
- ・ 総突き固め : 12k780m ~ 12k800m L=20m
12k840m ~ 12k780m L=40m (前後取付け L=19mは別途施行)
- ・ 道床整理 : 12k780m ~ 12k800m L=20m
12k840m ~ 12k860m L=20m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線12k780m~860m間の総突き固め及び道床整理を2グループで実施した。



基準杭と基準レールのレベル合わせて、レール扛上



下り線 12k810 付近総つき固め

作業報告

日 時 1月10日(金) 08:00~13:00

場 所 下り線 12 km 643.5~840

作業内容

- ・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 4名 ・ 作業員 : 20名
- ・ 総突き固め 12k800m ~ 12k840m L=40m
- ・ むら直し 12k643.5m ~ 12k800m L=49m (継目部中心に施行)
12k850m ~ 12k858m L=8m
- ・ 通り直し 12k730m ~ 12k750m L=20m
- ・ 道床整理 12k800m ~ 12k840m L=40m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線のむら直し、総突き固め及び道床整理を2グループで実施した。

レールに癖が有り、思うように通りが直らない。



継目落ち修正



下り線 12k750 付近通り直し

作業報告

日 時 1月13日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12km870~13km100

作業内容

- ・ 統括責任者 : 欠
- ・ 作業責任者 : 3名
- ・ 作業員 : 22名
- ・ 杭打ち 12k870m ~ 13k100m 15本
- ・ マクラギ位置修正 12k900m ~ 13k000m 16本
- ・ 道床整理 12k840m ~ 12k900m L=60m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線の総つき用の様杭打ち、マクラギ位置修正、道床整理を実施した。

大量のバラストが補充されたため、マクラギ位置修正、道床整理だけで、マクラギ交換まで手が回らなかった。

明日は、マクラギ位置修正器、レール吊り上げ器を使って作業を行う。



マクラギ位置修正



施工後の水準測定



大量のバラスト補充で道床整理が必要

作業報告

日 時 1月14日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 860~12km990

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 4名 ・ 作業員 22名

・ 総つき固め	12 k 860m ~ 12 k 890m	L = 30 m
・ PCマクラギ交換	12 k 970m ~ 12 k 990m	5本
・ PCマクラギ撤去	12 k 989m	1本
・ マクラギ位置修正	12 k 970m ~ 12 k 990m	5本
・ 道床整理	12 k 860m ~ 12 k 890m	L = 30 m

午前8時に12k600m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線の総つき固め、マクラギ位置修正、マクラギ交換、道床整理を実施した。

日本からの資機材；マクラギ位置修正器、レール吊り上げ器を使って作業を行った。



マクラギ交換



マクラギ位置修正器を使って位置修正



レール吊り上げ器を使ってレール位置整理



レール吊り上げ器とトロリー（ネコ車）

作業報告

日 時 1月15日(水) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 980~13km005

作業内容

・統括責任者 : 欠 作業責任者 4名 作業員 : 19名

・PCマクラギ交換 12k980m ~ 13k005m 14本

・マクラギ位置修正 12k919m 継目部) 2本

午前8時に13km040m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線の破損マクラギ交換、マクラギ位置修正を行った。



破損マクラギ撤去



短木マクラギを使って仮レール受け



新マクラギ挿入



レマクラギ位置整正器を使って破損マクラギの移動

作業報告

日 時 1月16日(木) 08:00~13:30

場 所 下り線 12 km 890~13km020

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 4名 ・ 作業員 : 22名

- ・ 総つき固め 12 k 890m ~ 12 k 930m L = 4 0 m (取付け 1 0 m別)
- ・ PCマクラギ交換 13 k 006m ~ 13 k 020m 8本
- ・ PCマクラギ挿入 13 k 002m 1本
- ・ マクラギ位置整正 12 k 995m ~ 13 k 003m (継目部) 5本
- ・ 道床整理 12 k 890m ~ 12 k 930m L = 4 0 m

午前8時に13 km 040m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線の総つき固め、マクラギ交換、マクラギ位置整正を行った。

総つきでは、日本からの豆タジャッキでは20 mmを上げることが出来ないので、2回に分けて、上げていたのだが、無理をさせたようで、1台が破損した。木くさびを多用する様にする。マクラギ破損が多いので、3本を連続して撤去、列車の一時停止、徐行を掛け、マクラギにパッキンをかませて、通過させた。

マクラギ位置整正器は小型ながら強力で重宝しているが、替えのバッテリーが欲しい。



作業報告

日 時 1月17日(金) 08:00~12:00

場 所 下り線 12 km 930~13km027

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 4名 ・ 作業員 : 20名

- ・ 総つき固め 12 k 930m ~ 12 k 970m
L = 4 0 m (12 k 980mまで取付け 1 0 m)
- ・ PCマクラギ交換 13 k 020m ~ 13 k 027m 7本
- ・ PCマクラギ挿入 13 k 025m 1本
- ・ 道床整理 12 k 930m ~ 12 k 970m L = 4 0 m

午前8時に13 km 040m付近の踏切に集合・点呼実施し、点呼後にミャンマー国鉄職員等と下り線の総つき固め、マクラギ交換、マクラギ位置整正を行った。

来週から軌道専門家は1名体制となる。



レール扛上量マーキング



総つき固め



マクラギ運搬



マクラギ挿入

作業報告

日 時 1月20日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 960~13km020

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 3名 ・ 作業員 : 20名

- ・ 総つき固め 12 k 960m ~ 12 k 980m L=20m (手直し)
12 k 980m ~ 13 k 020m L=40m
- ・ 通り直し 12 k 960m ~ 12 k 980m
- ・ PCマクラギ交換 13 k 019m 1本
- ・ 13 k 028m ~ 13 k 034m 10本
- ・ 道床整理 13 k 028m ~ 13 k 040m

午前8時に13 km 040m付近の踏切に集合・点呼実施し、ミャンマー国鉄職員等と下り線の総つき固め、通り直し、マクラギ交換を行った。

新虎の手(バラスト掻出し)が出来たので、各班に渡して作業を始めた。



レール扛上量計測と総つき固め



マクラギ交換



レール仮受



新虎の手と旧虎の手

作業報告

日 時 1月21日(火) 08:00~12:30

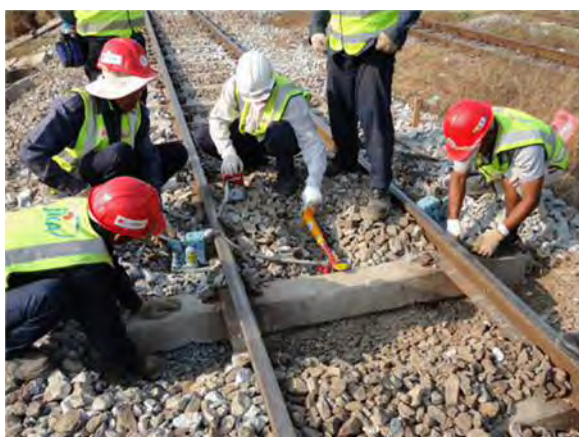
場 所 下り線 13 km 012~13km230

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 3名 ・ 作業員 21名

- ・ むら直し 13 k 015m ~ 13 k 020m
- 13 k 025m ~ 13 k 030m
- 13 k 040m ~ 13 k 050m
- ・ 通り直し 13 k 037m
- ・ PCマクラギ交換 13 k 035m ~ 13 k 037m 3本
- ・ 13 k 040m 1本
- ・ 道床整理 13 k 030m ~ 13 k 050m
- ・ 発生PCマクラギ整理 12 k 970m ~ 13 k 040m
- ・ 基準杭建植 13 k 130m ~ 13 k 230m

午前8時に13 k 0 4 0 m付近の踏切に集合・点呼実施後、下り線 13 k 035m付近からPCマクラギ交換、むら直し及び線路こう上用基準杭建植を行った。



マクラギ位置修正



むら直し



踏切周りの土砂撤去

作業報告

日 時 1月22日(水) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 050~13km120

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 3名 ・ 作業員 : 19名

- ・ 横断暗きよ (踏切両側) 2カ所
- ・ 横断排水路清掃 1カ所
- ・ 継目マクラギ位置整正 6カ所
- ・ PCマクラギ挿入 1本
- ・ 道床整理 13k060m ~ 13k120m
- ・ レール扛上量確認 13k055m ~ 13k120m
- ・ レベル測量 13k110m ~ 13k560m

午前8時に13km040m付近の踏切に集合・点呼実施し、ミャンマー国鉄職員等と下り線の踏切両脇横断暗渠、クラギ位置整正、マクラギ挿入、レベル測量を行った。

明日は13k055~13k140で総つきを行う。



レール扛上量計測



踏切脇暗きよ



横断排水路



レール位置整正

作業報告

日 時 1月23日(木) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 10~13km145

作業内容

・ 統括責任者 : 欠 ・ 作業責任者 4名 ・ 作業員 : 19名

- ・ むら直し 13 k 10m ~ 13 k 55m
13 k 60m ~ 13 k 70m
- ・ 総つき固め 13 k 60m ~ 13 k 90m
- ・ 継目マクラギ位置修正 2カ所 (13 k 134、13 k 144 10本移動)

午前8時に13 km 040m付近の踏切に集合・点呼実施し、ミャンマー国鉄職員等と下り線総つき固め、むら直し、クラギ位置修正を行った。

明日はマーキング、マクラギ位置修正、バラストのかき上げを行う。



総つき固め



踏切脇つき固め



むら直し



レール位置修正

作業報告

日 時 1月24日(金) 08:00~12:30

場 所 下り線 13 km 130~13km300

作業内容

・ 統括責任者 ; 欠 ・ 作業責任者 ; 4名 ・ 作業員 ; 23名

- ・ むら直し 13 k 130m~134m、13 k 143m~147m
- ・ 継目マクラギ位置修正 13 k 155m3本、13 k 160m1本、13 k 167m4本、13 k 178m6本
- ・ マクラギ挿入 13 k 180m1本
- ・ バラスト整理 13 k 100m~300m

午前8時に13 km 040m付近の踏切に集合・点呼後、むら直し、マクラギ位置修正を行った。
明日土曜日は、下り線 12 km~14 kmの列車動揺測定を行う。

来週は、12 km 500 分岐器の破損マクラギ交換、つき固め、分岐器周りのむら直し等を行う。



マクラギ位置修正



バラスト整理



跡検測

作業報告

日 時 1月27日(月) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 510 分岐器

作業内容

- ・統括責任者：欠 ・作業責任者：4名 ・作業員：22名
- ・分岐マクラギ交換 4本(3mマクラギ)、分岐マクラギ位置修正 1本
- ・レベル測量(12k380m~12k630m) L=250m

午前8時に12km630m踏切に集合・点呼実施し、分岐マクラギ、レベル測量を行った。
分岐マクラギ交換時には、両側にパッキンを入れ、水準に気を付けながら作業を行った。

明日は分岐マクラギ7本交換を目標に安全に作業を進める。



安全作業徹底の点呼



分岐マクラギ挿入



パッキング



穿孔(ギムネ)



水準検測



つき固め

作業報告

日 時 1月28日(火) 08:00~12:30

場 所 下り線 12 km 510 分岐器

作業内容

- ・統括責任者：欠
- ・作業責任者：4名
- ・作業員：20名
- ・分岐マクラギ交換 7本 (5m3本、3m4本、)

午前8時に12 km 630m踏切に集合・点呼実施し、事前検測、分岐マクラギ交換を行った。
分岐マクラギ交換時には、パッキンを入れ、安全に気を付けながら作業を行った。

明日は分岐マクラギ9本交換を目標に安全に作業を進める。



レベル測定の説明



5m マクラギ挿入



パッキング



タイプレート



イヌクギ打ち



穿孔

作業報

場 所 下り線 12 km 500m 付近分岐器

作業内容

- ・ 統括責任者：欠 ・ 作業責任者：4名 ・ 作業員：19名
- ・ 分岐マクラギ交換 10本(PC 2本、木枕木 8本)

午前8時に12 km 630m踏切に集合・点呼実施し、事前検測、分岐マクラギ交換を行った。
分岐マクラギ交換時には、パッキンを入れ、安全に気を付けながら作業を行った。

明日は分岐マクラギ7本交換を目標に安全に作業を進める。



木枕木運搬



PC 枕木運搬



木枕木挿入



PC 枕木挿入



孔あけ、犬釘打ち



突き固め

作業報

場 所 下り線 12 km 500m 付近分岐器

作業内容

- ・ 統括責任者： 欠
- ・ 作業責任者： 4 名
- ・ 作業員： 21 名
- ・ 分岐マクラギ交換 8 本(木枕木 8 本)

午前 8 時に 12 km 630m 踏切に集合・ 点呼実施し、分岐マクラギ交換、位置整正、仮杭打設、レベル測量を行った。分岐マクラギ交換時には、パッキンを入れ、安全に気を付けながら作業を行った。明日は分岐器前後の総つき固めを行う。



古枕木と新枕木



分岐器付近突き固め



仮杭打設



測量の状況①



測量の状況②



仮杭の上に置いた温度計

場 所 下り線 12 km 500m 付近分岐器

作業内容

・統括責任者：欠 ・作業責任者：4名 ・作業員：23名

・分岐器付近総突き固め

午前8時に12km630m踏切に集合・点呼実施し、分岐付近の総つき固め、通り直し、レベル測量を行った。月曜日は13km90m付近からの総つき固めを予定



分岐器付近突き固め①



分岐器付近突き固め②



通り直し



レベル測量



検測の状況



整備終了後 (バゴ側からの写真)